












項目	観点	特色	具体例
1 目標と内容の取り扱い	学習指導要領の目標や内容との関連が十分図られているか。	①学習すべき章全体の目標を明確にするとともに、各小単元の冒頭にそこで学習する課題を明示している。 ②学習指導要領に示されている内容の全てについて、 教科及び各小単元の目標が十分達成できる よう教材に工夫をこらしている。	各小単元 各小単元
	基礎的・基本的知識や技能の習得が図れるように配慮されているか。	①各小単元の本文で 基礎的・基本的な学習内容を分かりやすい言葉で明示 し、学習すべき内容の確実な習得が図れるように配慮している。 ②まとまりのある本文・資料により、 生徒が授業前や授業後に自学自習を行いやすくなっている 。 ③知識の定着を図るため、各小単元において キーワードで学習内容の振り返り をし、各章末では重要語句の再確認ができるようにしている。 ④「 中学校保健体育WEB 」には「 まとめの問題 」を用意し、確実に知識を定着させることができるようにしている。	各小単元 各小単元 p.14, 28ほか p.14, 28ほか
	思考力、判断力、表現力等の育成が図れるように配慮されているか。	①教科書全体で、 課題解決学習 を通して、思考力、判断力、表現力等が育成されるように配慮している。 ②各小単元の、課題を発見する活動「つかもう」、課題を解決する活動「やってみよう」、「話し合ってみよう」、「調べてみよう」、学習したことを活かす活動「活用して深めよう」などのさまざまな活動により、 思考力、判断力、表現力等が総合的に育成される ように配慮している。 ③各章末の「学びを活かそう」では、その章で学習したことをより深く理解し、生活に活かすための課題を設定し、思考力、判断力、表現力等が育成されるように配慮している。	各章 各小単元 p.13, 27, 52ほか
	学びに向かう力、人間性等の涵養が図れるように配慮されているか。	① 口絵 では、生徒が保健体育を学習する重要性を理解し、自分のこととして捉え、主体的に学習に取り組む態度が養われるようにしている。 ②導入の活動「つかもう」では、生徒に身近な題材や自分の生活について取り上げることで、主体的に学習に取り組む態度を育むことができるようにしている。	口絵1～20 p.4, 16, 30ほか
	言語能力の育成が図れるように配慮されているか。	①教科書全体で活動を通して、 思考したことを記述し、対話や発表をして他者に伝える ことで、コミュニケーション能力や論理的思考力が育成されるように配慮している。 ②第2学年の「喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ」では、誘われたときの断り方を思考し、 ロールプレイング を行うことで、言語活動を通して他者とのかわりについて学べるように工夫している。また、危険な行動を避けるための明確な断り方を自ら考えさせることで、 コミュニケーションスキル を養えるようにしている。	各小単元 p.83
	道徳教育との関連が図られているか。	①さまざまな人々が生活している社会のなかで、 お互いに認め合い、尊重し合うことの大切さ を実感することができるようにしている。	p.43, 130, 144など

項目	観点	特色	具体例
1 目標と内容の取り扱い		<p>②生命尊重について、中学生期が生命を生み出す体へと成熟しつつあるということを写真やイラストで理解を深められるようにし、自他の生命を大切にする気持ちを育む学習を深められるようにしている。</p> <p>③伝統と文化の尊重について、武道の成り立ち、貝原益軒の「養生訓」、日本の伝統的な食文化である「和食」などを紹介し、伝統・文化の尊重と郷土への愛の育成に配慮している。</p>	<p>p.34～37など</p> <p>p.11, 17, 20など</p>
	体験活動の充実が図れるように配慮されているか。	<p>①照度計やガス採取器を用いた実験や、ストレスへの対処のしかた、心肺蘇生法などの実習などを数多く取り入れている。</p> <p>②家庭や地域において保健体育で学習したことを活用できるよう、該当箇所に「家」・「地域」マークを設けている。</p> 	<p>p.47, 51, 106～109, 110～111, 112～113, 151, 153, 155など</p> <p>p.6, 25, 96, 103, 124, 145, 163, 164など</p>
	情報活用能力・情報モラルの育成が図れるように配慮されているか。	<p>①健康や安全に関する情報を適切に収集し、集めた情報から意思決定・行動選択するために必要な力を育むことができるように配慮している。</p> <p>②学習をより理解したり、広げたりすることができるよう、紙面に2次元コードを掲載した上で、ホームページ上にウェブコンテンツを用意し、対応するページにWEBマークを示している。</p>  <p>③スマートフォンなどの普及で、より一層求められている情報活用能力・情報モラルについて、保健体育科として効果的に学習できるような特設ページを設けている。</p> <p>④第1学年「思春期の心の変化への対応」、第2学年「犯罪被害の防止」では、スマートフォンやSNS等を正しく利用するために、行動のしかたや危険性などに触れた資料を掲載している。</p> <p>⑤第1学年「休養・睡眠と健康」では、コンピュータを使用する際の健康への影響について触れた資料を掲載している。</p>	<p>p.12, 99, 143, 153など</p> <p>p.14, 21, 28, 53, 70, 88, 97, 103, 107～109, 111, 113, 114～115, 117, 121, 124, 129, 146, 148, 166, 168～169</p> <p>口絵13～14</p> <p>p.39, 97など</p> <p>p.23, 26</p>
	問題発見・解決能力の育成が図れるように配慮されているか。	<p>①課題に対して切実感や興味・関心をもてるように、生徒が実生活・実社会で出会うような場面を設定し、健康や安全に関して具体的・体験的な解決が図れるようにしている。</p>	各小単元
上 2 の 配 慮 指 導 計 画 と 指 導	「主体的・対話的で深い学び」が実現できるように配慮されているか。	<p>①本文ページと資料ページが明確に分けられているため、学習内容の要素が見やすく、参照性が高くなっており、「主体的・対話的で深い学び」につながる活動が行いやすくなっている。</p>	各小単元
		<p>②各章末の「学びを活かそう」で、自らの課題を発見し、主体的に取り組むなかで、資料から読み取る、友達と話し合うなど、対話を通して思考を広げて深めていく活動等を通じて、深い学びが実現できるように配慮している。</p>	各章

項目	観点	特色	具体例
2 指導計画と指導上の配慮	教科横断的な視点にたった資質・能力の育成が図れるように配慮されているか。	①社会、理科、技術・家庭など、 他教科に関連した題材 を適宜扱うとともに、他教科に関連していることが一目でわかるようマークで示している。 	p.20, 30, 32, 34, 98, 140, 150, 152, 154
	小中高の学習内容の円滑な接続への配慮がされているか。	①各章の章扉では、小学校、中学校、高等学校を通じた系統性のある学習ができるように、小学校や高等学校の 関連する学習内容 を示している。 ②第3学年の最後には、 高校生活に向けての生活の目標 を書き込むスペースを設け、生徒が中学校保健体育の学習を終えて、これからどのような生活を送ろうと思うか考えられるようにしている。 ③第1学年は、 本文等の読みやすい位置での改行 を行い、 小中接続時 の学習を円滑に進められるよう工夫している。	p.3, 15, 29, 55, 71, 89, 119, 131, 149 p.167 p.2～53
	キャリア教育に対応した指導ができるよう配慮されているか。	①世界で活躍するアスリートや、研究者が「健康に過ごすために気をつけていること」に関してのメッセージを掲載し、 多様な立場の人々が社会で活躍していること を理解できるよう工夫している。	口絵9～10
	特別支援教育の観点から、多様な生徒の特性に対応できるような配慮がされているか。	①専門家の監修のもと、読みやすい、見やすい紙面となるよう本文ページと資料ページの明確な区別や読みやすい位置での改行を実現、 ユニバーサルデザイン（UD） フォントを使用、 カラーユニバーサルデザイン をふまえた配色を工夫するなどして、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮している。  ②拡大教科書を発行し、弱視者に配慮している。	各小单元
	人権、生命尊重についての配慮がされているか。	①教科書全体を通して、 人権尊重、生命尊重の視点を踏まえた表現・記述 としている。また、生徒が活動する場面では、 ジェンダー（社会的な性別） を意識し、イラストなどは男女が同人数になるように配慮している。	各小单元
	保健体育の見方・考え方をはたらかせることができるよう配慮されているか。	①各小単元の冒頭「学習のねらい」では、この時間の学習を通して解決したい学習課題（保健体育の見方・考え方をはたらかせて解決すべき課題）を明確に示している。  ②各小単元の「話し合ってみよう」「活用して深めよう」などの活動では、 「保健体育の見方・考え方」 をはたらかせて深い学びにつながるようしており、生涯にわたって健康を保持・増進し、豊かなスポーツライフを実現する 資質・能力 が育まれるように配慮している。   ③各章末の「学びを活かそう」では、学習を深め、生活に活かすため、思考力、判断力、表現力等が育成されるように配慮している。 	各小单元 各小单元 各小单元
	防災・安全教育に対する配慮がされているか。	①第2学年「傷害の防止」では、さまざまな傷害の起こり方や自然災害の特徴を理解し、それに対する 備え・身を守る方法を確実に身に付け、日常生活に活かせる よう工夫している。 ②自然災害が 起こったとき被害を最小限にとどめるために 、自分自身が何をすべきか、どんな行動を取ればよいかを考えられるようにしている。	p.90～116 p.99

項目	観点	特色	具体例
2 指導計画と指導上の配慮		③家族との緊急連絡方法や避難場所について確認したり、非常持出用品についてチェックしたりできるようにすることで、災害に対する備えを強く意識できるようにしている。	p.103
	家庭、地域社会との連携が図れるように配慮されているか。	①家庭や地域において保健体育で学習したことを活用できるよう、該当箇所に「家」・「地域」マークを設けている。 	p.6, 25, 96, 103, 124, 145, 163, 164など
	伝統や文化に関する教育が図れるように配慮されているか。	①武道の成り立ち、貝原益軒の「養生訓」、日本の伝統的な食文化である「和食」などを紹介し、伝統・文化の尊重と郷土への愛の育成に配慮している。	p.11, 17, 20など
	食育を含めた心身の健康の保持増進に関する内容の充実が図られているか。	①教科書全体で生徒が自分の食生活や健康に目を向けることができるよう配慮している。 ②健康を支える食事について特設ページを設け、食事の大切さについて興味・関心を高め、毎日の生活の中で実践できるようにしている。 ③第1学年では、日本の伝統的な食文化である「和食」を紹介し、食事の楽しさや大切さを伝えている。	各小単元 口絵11～12 p.20
	国際理解を深めるための内容が適切に示されているか。	①国際的なスポーツ大会の写真やエピソードを多数掲載している。 ②医療、健康教育に携わる人々の紹介や国際的な環境問題の提示をすることで、国際的な視野をもつとともに社会の発展に寄与する態度を養えるようにしている。	口絵3～4, p.122～127, 130など p.146, 165など
	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合うことを意識し、さまざまな人々との交流に十分配慮されているか。	①生徒の身近にいるさまざまな人々との交流の様子をイラストで示し、地域の一員であることなどを意識できるようにしている。	各小単元
	自分の成長に気づき、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつことができるような活動となるように工夫されているか。	①第1学年「思春期の心の変化への対応」では、心の変化について、小学生の頃の自分と比べる活動を行うことで、自分の成長に気づくとともに、自分の成長を支えてくれた人々の存在に意識を向けることができるよう工夫している。	p.38
	生徒がともに活動する中で、自分のよさや得意とすることができるように工夫されているか。	①教科書全体として、生徒が自分を肯定的に捉えられるような表現を用い、よいところを伸ばせるように工夫している。	各小単元
	生徒がともに活動する中で、友達のよさに気づくことができるように工夫されているか。	①活動では「話し合ってみよう」などグループで行うものを多く配置し、友達の意見を聞いたり、認めたりすることができるよう配慮している。	各小単元
	生徒の生活や経験及び興味・関心に対する配慮がされているか。	①課題に対して切実感や興味・関心をもてるように、生徒が実生活・実社会で出会うような場面を設定し、健康や安全に関して具体的に・体験的な解決が図れるようにしている。	各小単元
安全に活動するための配慮がされているか。	①教科書全体として、生徒が安全に活動できるように工夫している。	各小単元	

項目	観点	特色	具体例
2 指導計画と指導上の配慮	課題解決のための学習の手順について、どのような創意・工夫がされているか。	<p>①1単位時間1見開きを基本としたわかりやすいページ配分にし、「学習のねらい」（課題の把握：この時間の学習を通して解決したい課題）</p> <p>→「つかもう」（導入の活動：身の回りのこと、自分や友達の実験など、身近な疑問から学習をスタートする）</p> <p>→「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」（この時間の中心となる活動：本文・資料を活用しながら、いろいろな活動に取り組み、課題を解決する）</p> <p>→「活用して深めよう」（まとめの活動：学習したことを活用しながら、学びをより深める課題に取り組む）</p> <p>→学習したことをまとめる。</p> <p>→毎日の生活に活かしていく。</p> <p>の流れで学習が進められるよう構成している。</p> <p>また、知識の定着を図るため、各小単元に「キーワード」を設け、習得すべき基本用語の振り返りができるようにしている。</p> <p>さらに、各章の章末には「学習のまとめ」があり、重要な言葉やまとめの問題を通して、生徒が自ら振り返り学習ができるようにしている。</p>	各小単元
3 内容の程度	内容の程度、分量は適切か。	<p>①学習内容の系統性、領域のバランス、他教科との連携を総合的に考慮し、適切な単元配列となっている。</p> <p>②各章、小単元の学習は必要かつ十分なものを取り上げ、資料や知識は過多にならないよう、発達段階と学年に応じて精選している。</p> <p>③単元内の活動は、授業時間を考慮しながら、知識・技能を定着させるように配慮している。</p>	各小単元 各小単元 各小単元
	個に応じた指導に対応できるよう配慮されているか。	<p>①各章の章末資料では、学習内容に関連する資料を掲載し、学習内容をさらに広げて知識を深められるよう工夫している。</p> <p>②「ミニ知識」や「発展」などの読み物や資料で、個に応じて学習内容を深めることができるように配慮している。</p> <p style="text-align: center;">   </p> <p>③まとまりのある本文・資料により、生徒が授業前や授業後に自学自習を行いやすくしている。</p>	p.10, 26, 50 など 各小単元 各小単元
	教科書の構成は、 生徒の発達段階をふまえたもの になっているか。	<p>①著しい発達段階にある中学生の考え方や精神面及び能力を考慮して、発問の設定や文章の記述ならびに表現・表記を吟味し、生徒が主体的に無理なく学習できるようにしている。</p> <p>②単元の導入となる「つかもう」では、実生活を振り返る活動を随所に取り入れることで、前の学年からの学習内容の円滑な接続ができるようにしている。</p>	各小単元 各小単元

項目	観点	特色	具体例
4 内容の組織・配列・分量	学習指導要領の内容をもれなく扱い、目標を達成できるよう構成・配列されているか。	①教科書全体で、学習指導要領に則り、身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容をわかりやすく、より実践的に学習できるようにしている。	各小単元
	教科書の構成は、系統性をふまえたものになっているか。	①全学年とも学習指導要領に則り、指導内容を体系化して、身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容をわかりやすく、より実践的に学習できるようにしています。	各小単元
	地域・学校の実態に応じて、指導を行うことができるよう配慮されているか。また、指導計画は3学期制、2学期制にも対応しているか。	①単元の学習内容を学習指導要領の項目に合わせ、1単位時間の学習内容をまとめているため、時期を問わず指導を行うことができるように工夫されている。 ②指導計画は、3学期制・2学期制に対応している。	各小単元 各小単元
5 表記・表現	表記・表現は適切か。	①文章は生徒の発達段階を考慮して、平易でわかりやすい表現になっている。 ②取り上げる内容については十分に正確性に配慮するとともに、読みやすい表現になっている。	各小単元 各小単元
	イラストや写真、グラフ、表、参考資料等は、質・量ともに適切か。	①イラストや写真は生徒の学習意欲を喚起したり、興味・関心を引いたりするようなものに厳選されている。 ②グラフや表は正確性に万全を期するとともに、生徒が視覚的に捉えやすいように工夫している。 ③参考資料は科学的根拠にもとづいた最新のデータを採用し、学習の助けとなるものを提示している。	各小単元 各小単元 各小単元
	文字の書体、大きさなどは適切か。	①常用漢字、現代仮名遣いを原則とし、教育漢字以外には、見開きページの初出ごとに振りかなをつけている。用語については、学術的に正確なもので中学生に合ったものを使用し、重要語句は太字にしている。 ②記号やマークは、生徒の発達段階に応じて興味・関心を引き、理解を助けることができるようなものとするとともに、マークの名称も添えてそれぞれの内容がわかるようにしている。	各小単元 口絵15～16
	レイアウトや紙面構成は工夫されているか。	①専門家の監修のもと、読みやすい、見やすい紙面となるよう読みやすい位置での改行を実現、ユニバーサルデザイン（UD）フォントを使用、カラーユニバーサルデザインをふまえた配色を工夫するなどして、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮している。 	各小単元
6 印刷・製本	印刷は鮮明か。	①印刷はソフトで、美しい仕上がりにしている。特に、写真やイラストについては、鮮明で美しく仕上げている。	
	表紙、紙質、製本などは適切か。	①表紙は丈夫で汚れにくいコーティングを施すなど、3年間の使用に十分耐える造本になっている。 ②製本は、針などの使用がなく、生徒にとって安全な「アジロ綴じ」とし、奥までよく開くことができ、写真や図版等をきれいにすることができるようにしている。	
	環境やアレルギーに対して配慮がされているか。	①用紙は、自然保護のため環境に配慮した紙を使用している。 ②化学物質に過敏な生徒に配慮し、植物油インキを使用している。	

項目	観点	特色	具体例
7 教育基本法（第一条）との関連	第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求めめる態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ●幅広い知識と教養を身に付けるために 「学習のねらい」から「活用して深めよう」までの課題解決型学習によって、自ずと保健及び体育に関する知識を身に付けることができるようにしている。 ●豊かな情操と道徳心を培うために 運動やスポーツを行うことによる心身や社会性の発達への効果、思春期の心の発達とその健康のあり方に十分な内容を用意し、情意機能の発達について触れ、豊かな情操を育むように配慮し、欲求の充足が合理的になされるようにしている。 ●健やかな身体を養うために 教科書のすべてを通じて、生涯にわたって健康を保持増進するための知識や技能を育むことができる構成としている。 	<p>各小単元</p> <p>p.38～49, 56～57など</p> <p>各小単元</p>
	第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ●個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養うために 意欲や意志を育て感情をコントロールすることの大切さや、発育・発達には個人差があること、他人の立場を踏まえた個人の価値観を身に付ける重要性を理解させ、どのような自己像をつくりあげるかを主体的に考えることができるようにしている。 ●職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うために 個人の価値と生活習慣との関係が理解できるようにし、運動やスポーツ、保健医療に携わる人々の仕事の内容について理解を深めることができるようにしている。 	<p>p.30～31, 42～43, 44～45, 56～57</p> <p>口絵9～10, p.40, 42, 146</p>
	第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ●正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるために 障がいのある人たちを支援したり、スポーツボランティア活動をしたりすることなどが大切であることの理解を深められるようにしている。 また、社会性について、話し合いを通じてさまざまな人と楽しむための工夫をし、協力や協調ができる人間関係を築けるようにしている。 さらに、異性に対する理解と尊重を取り上げ、男女の平等と協力についての理解を深めるようにし、社会性の形成の観点から自他の敬愛について思考できるようにしている。 ●公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために 環境保全や公衆衛生活動について学習することを通じて、健康な社会に主体的に参画するための公共的な視点を身に付けることができるように工夫している。 	<p>口絵6, p.6～7</p> <p>p.43, 56～57, 130</p> <p>p.34～39</p> <p>p.140～141, 158～163</p>
	第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ●生命を尊ぶ態度を養うために 運動やスポーツを安全に行うための体調管理や、運動中に発生した傷害や事故への対処のしかたなどについて身に付け、安全な運動の行い方を理解できるようにしている。 また、人間の生殖の仕組みを取り上げ、体の成熟と生命の誕生を時系列で理解できるようにするとともに、これから生まれてくる命を尊ぶ心を育めるようにしている。 	<p>p.60～61, 104～115</p> <p>p.34～37</p>

項目	観点	特色	具体例
7 教育基本法 (第二条) との関連		<p>さらに、交通事故や自然災害による傷害の防止に努め、応急手当の意義と方法、疾病の予防について理解させ、かけがえのない自他の生命を尊重できるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うために環境汚染についての理解と対策のあり方を知ることにより、環境を保全する態度を養えるようにしている。 	<p>p.90～117</p> <p>p.160～165</p>
	<p>第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するために 日本の伝統的な健康思想である「養生訓」を、受け継ぐべき健康づくりの思想として取り上げるとともに、国際社会で活躍する日本人の活動を取り上げている。 ●他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために 運動やスポーツの移り変わり、技術や戦術の変遷を取り上げ、ルーツやルールの変更の歴史を学ぶことで他国の文化に触れることができるようにしている。 また、オリンピック・パラリンピックや国際的なスポーツ大会が国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解させることで、自らの国や文化を愛することと同様に他国の文化や国際社会を尊重する意識を形成できるようにしている。 	<p>p.17, 146</p> <p>p.10～12</p> <p>口絵7～8, p.122～125, 126～127, 130</p>